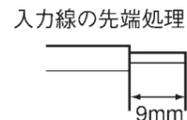
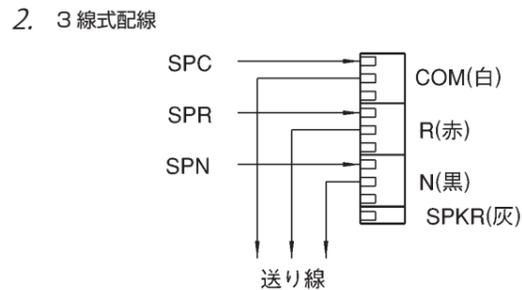
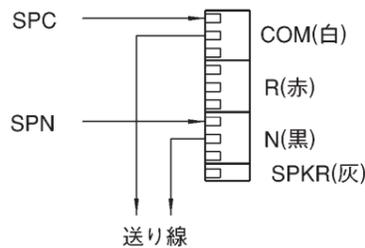


接続方法

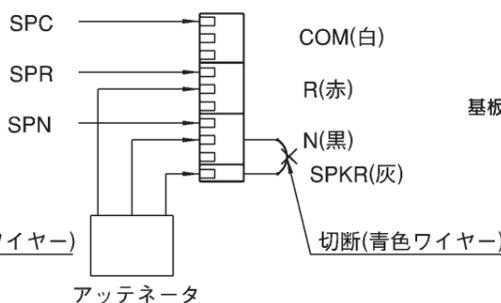
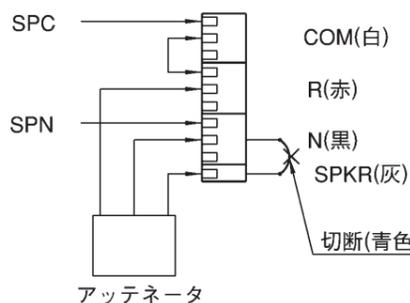
- 接続用適用電線
単銅線φ0.8～φ1.6mm（適用電線以外は使用しないでください。）
- 接続のしかた
入力線の先端を右図の様に処理し、入力端子台の穴の奥まで確実に入力線を押込みます。
- 配線のしかた



1. 2線式配線
2. 3線式配線



3. 2線式配線（SB-HC900に外部アッテネータを増設する場合）
4. 3線式配線（SB-HC900に外部アッテネータを増設する場合）



この青色ワイヤー（ジャンパー）を切断し、ショートしないように処理してください。

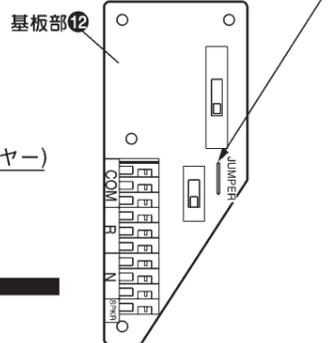


図8

保証とアフターサービス

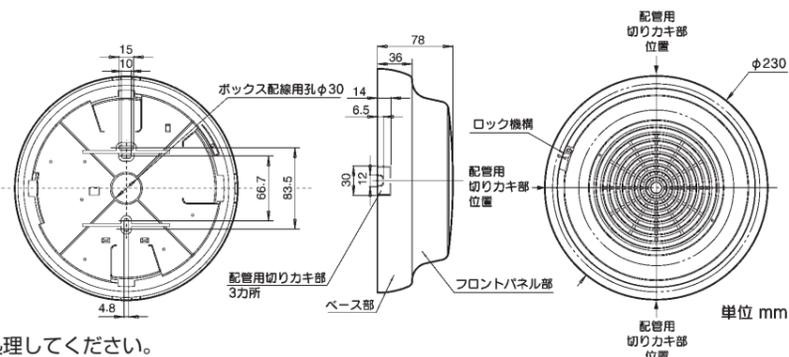
- サービス窓口
 - ・下記 URL をご覧ください。
<http://www3.jvckenwood.com/pro/service.html>
 - ・カスタマーサポートセンター（045-939-7320）
- サービスについてのお問い合わせ先
修理・保守・設置工事については、お買い上げ販売店または最寄のサービス窓口にご相談ください。

仕様

※ 本機の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

日本消防検定協会認定評価品

定格入力	: 3W、1W
インピーダンス	: 3.3kΩ、10kΩ
出力音圧レベル	: 92dB/1W(1m)
スピーカーユニット	: 12cm コーン型
再生周波数	: 160Hz～15kHz
取付方式	: ロータリーキャッチ方式
入力端子	: ワンタッチ 10P
質量	: 約 0.9kg
付属品・添付物	: ネジ M4 × 352 本 取扱設置説明書1 部 保証書1 部



この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適正に処理してください。

JVCケンウッド カスタマーサポートセンター

固定電話 ☎ 0120-2727-87
 携帯電話・PHS ☎ 0570-010-114
 一部のIP電話など 045-450-8950
 FAX 045-450-2308
 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

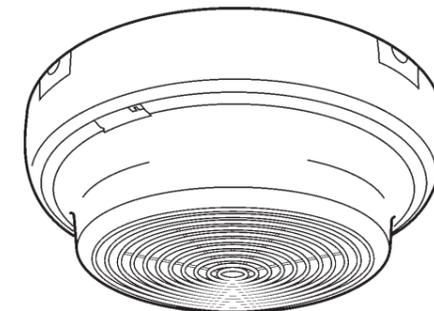
株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム
 〒221-0022
 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

JVC

防滴天井露出型スピーカー

型名 SB-HC900

取扱設置説明書



— お買い上げありがとうございます。 —

ご使用前にこの「取扱設置説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱設置説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています

警告図記号の説明例



名称：指挟み注意

意味：特定の条件下において、指を挟む可能性を示すもので、図の中に具体的な注意内容が描かれています



名称：分解禁止

意味：製品を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が描かれています



名称：電源プラグをコンセントから抜け

意味：使用者に電源プラグをコンセントから抜くよう指示するもので図の中に具体的な指示内容が描かれています

使用上のご注意



警告

- 万一、煙が出ている、変なおいや音がするときは、すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを切る。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



- この機器を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。



分解禁止

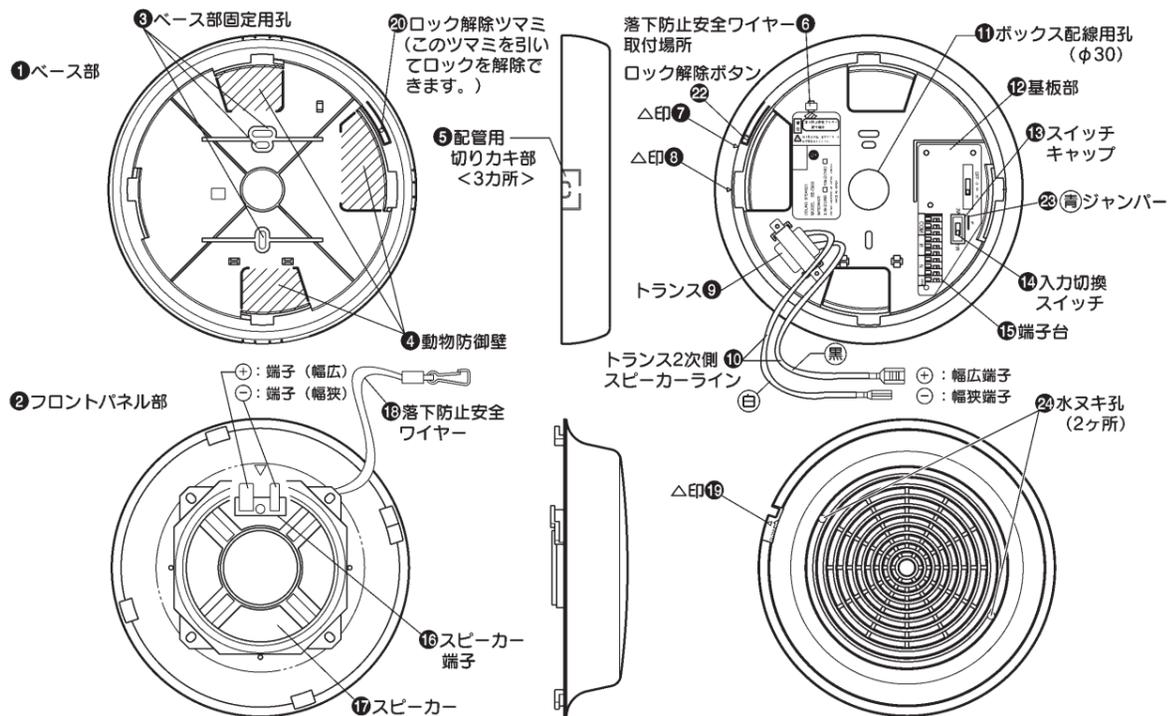


注意

- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
- 梱包箱や梱包袋等は、お子様などが遊びに使わない様に注意してください。遊びに使ったりするとけがや窒息などの事故が起きる場合があります。



各部の名称



設置上のご注意

警告

- 設置をする場合は技術を必要としますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。高所での設置作業となり、大変危険です。
- 設置場所は、スピーカーの質量（0.9kg）に十分耐えられる構造の所に設置してください。構造的に弱い場所には、補強材をあてるなどして十分に補強してください。
- 油煙等の特殊環境では使用しないでください。プラスチック素材が強度劣化し大変危険です。

注意

- 取り付けネジやナットで締め付ける箇所がある機器は締め付けが不確実だと落下する恐れがありますので確実に締め付けてください。又、一年に一度は点検を行ってください。
- 梱装箱や梱包装袋等は、お子様などが遊びに使わない様に注意してください。遊びに使ったりするとけがや窒息などの事故が起きる場合があります。

設置方法

※ 本製品開梱後、ロック解除ツマミ⑳を引いてベース部①とフロントパネル部②を別々にしてください。

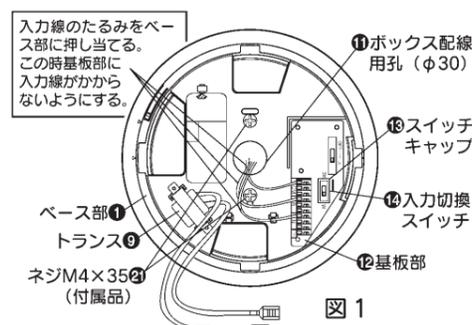
■ 埋込みボックス使用の場合

1. ベース部①の入力切換スイッチ⑭を必要な位置（1W or 3W）にセットします。スイッチキャップ⑮をかぶせたまま、スイッチを切替えることができます。作業しにくい場合は、スイッチキャップ⑮をはずし、切替えを行ってください。（接続するスピーカーの入力の合計が、アンプの定格出力を超えないようセットしてください。）切替え後は必ずスイッチの位置がずれないように注意しスイッチキャップ⑮をかぶせてください。（図1参照）

注意

入力切換スイッチ（インピーダンス切換スイッチ）を誤ってセットすると、アンプが過負荷の為に破損する場合があります。接続するスピーカーの合成インピーダンスがアンプの許容負荷インピーダンス以上になるようにしてください。

2. 埋め込みボックスから入力線を引き出し、ベース部中央のボックス配線用孔（φ30）⑪に通します。
3. ベース部①を埋め込みボックスに、付属のネジ（M4×35）⑳2本を使って取付けます。

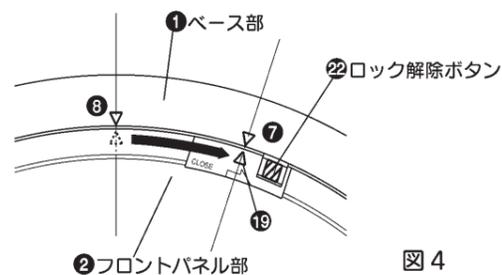


4. 入力線を端子台⑮に接続します。（裏面の接続方法の項を参照してください。）
5. 配線後入力線がたるむとたれ下らないよう、入力線のたるみをベース部①に押し当ててください。この時、基板部⑫及びトランス⑨の上に入力線がかからないようにしてください。
6. フロントパネル部②の落下防止安全ワイヤー⑯をベース部①の落下防止安全ワイヤー取付場所⑥にしっかりと引っかけます。（図2参照）

警告

- 落下防止安全ワイヤー⑯は必ずベース部の落下防止安全ワイヤー取付場所⑥にしっかりと取付けてください。取付けを怠るとフロントパネル部②が落下し、けがをする恐れがあります。
- 図3の状態フロントパネル部②にぶらさがらないでください。落下防止安全ワイヤーが切れ、ケガの原因になります。

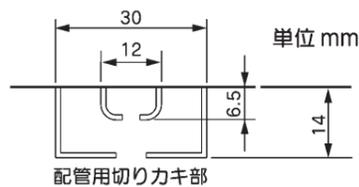
7. ベース部①のトランス2次側スピーカーライン⑩を、フロントパネル部②のスピーカー端子⑮に接続します。この時⊕の極性を間違えないよう、十分注意してください。（⊕：黒、幅広端子 ⊖：白、幅狭端子（図3参照））
8. フロントパネル部の△印⑰をベース部②の△印③に合わせてハメ込み、ベース部の△印⑦まで、矢印の方向に回転させてください。この時、入力線及び落下防止安全ワイヤー⑯をはさまないようにしてください。（図4参照）



※ フロントパネル部②を取りはずす場合は、ロック解除ボタン⑳を押し、左回転してください。

■ モール管等の配管を使用する場合

1. SB-HC900は、3方向からの配線に対応しています。必要に応じ、以下の処理を行ってください。
(1) ベース部①の配管用切りカキ部⑤を必要に応じ切りとる。



- (2) ベース部①の動物防壁④を切りとる。（図5参照）

2. 埋配管処理は図6の寸法で行ってください。
3. 以下の取付け方法は、"■埋込みボックス使用の場合"をご覧ください。

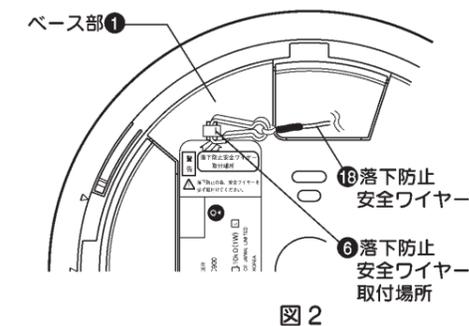


図2

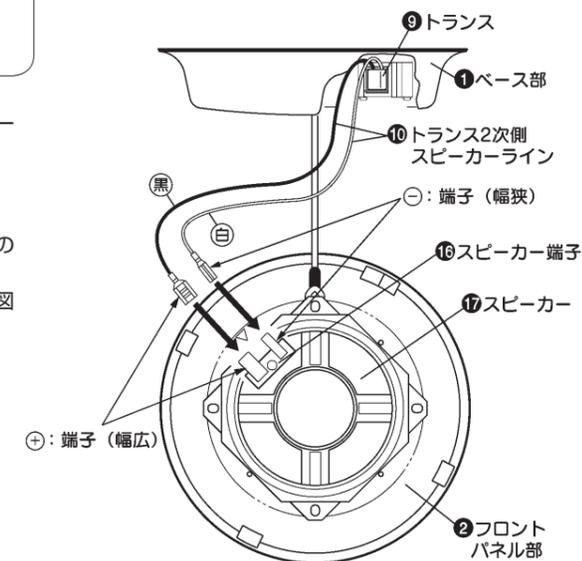
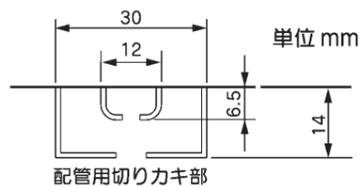


図3

■ モール管等の配管を使用する場合

1. SB-HC900は、3方向からの配線に対応しています。必要に応じ、以下の処理を行ってください。
(1) ベース部①の配管用切りカキ部⑤を必要に応じ切りとる。



- (2) ベース部①の動物防壁④を切りとる。（図5参照）

2. 埋配管処理は図6の寸法で行ってください。
3. 以下の取付け方法は、"■埋込みボックス使用の場合"をご覧ください。

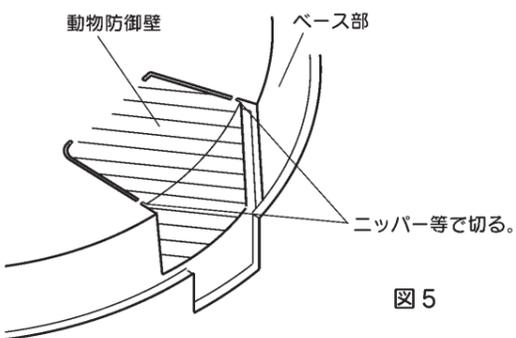


図5

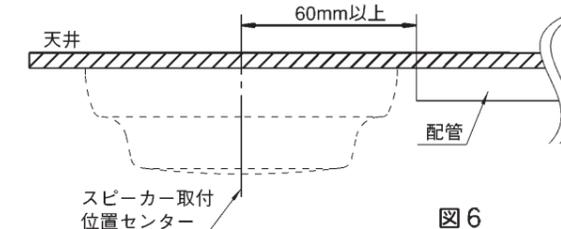


図6